

2024年3月25日

課題名：小児水頭症患者に対するシャント感染因子の検討

◆研究の目的と概要◆

当院では、バクチシール®導入後の感染状況の変化を中心にシャント感染因子について調べています。本研究では、バクチシール®の有用性や感染因子の同定を目指し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2014年1月から2023年12月までの間に、水頭症であると診断された小児の患者さんが対象となっています。

◆研究に使用される情報・試料◆

年齢、性別、手術日、原因疾患、穿刺部位、バクチシール®の使用の有無、感染でのシャント再挿入、感染までの期間、感染以外でのシャント再挿入、感染以外でのシャント再挿入までの期間、合併症の有無、先行シャントの有無、先行ドレナージの有無、フォローアップ期間

◆試料・情報の研究利用開始日◆

2024年5月21日以降

◆研究方法◆

本研究は、過去の診療録と画像所見からの情報を用いて実施します。

- 
- \* 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
  - \* 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院  
脳神経外科脳卒中科 研究責任者 紀之定 昌則  
E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp (臨床研究センター)  
(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難である等の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明